

流通情報学部20年の歩み

矢 野 裕 児

■流通情報学部開設の歴史

流通経済大学は、1965年1月に設置認可を受け、1965年4月に開学、2016年3月に、開学50周年を迎えた。開学時は、経済学部経済学科の1学部1学科であり、1970年4月に経済学部経営学科、1988年4月に社会学部社会学科、1992年4月に社会学部国際観光学科が開設され、3学部目として1996年4月に流通情報学部が開設された。その後、2001年4月に法学部、2006年4月にスポーツ健康科学部が開設され、現在の5学部体制となっている。また、流通情報学部の大学院として2000年4月に物流情報学研究科修士課程、2002年4月に物流情報学研究科博士後期課程が開設された。1996年4月に開設された流通情報学部は、20周年を迎えた。

■流通情報学部歴代学部長

流通情報学部の初代学部長は坂下昇先生（1996年4月1日～2001年3月31日）で、その後織田政夫先生（2001年4月1日～2004年3月31日）、河原田秀夫先生（2004年4月1日～2007年3月31日）、百合本茂先生（2007年4月1日～2011年3月31日）、小林憲一郎先生（2011年4月1日～2011年9月30日）、そして現在は第6代の増田悦夫先生（2011年10月1日～）となっている。学部長のそれぞれの専門分野は、公共経済学、海運論、数値解析、経営工学、商業経営論、情報ネットワークと広範にわたっており、ロジスティクスが学際的分野であることを反映している。

■流通情報学部の特徴

流通情報学部という名称は、学部名としては現在日本で唯一のものとなっている。学部のカリキュラムも特色があり、物流、ロジスティクスを柱とした総合的、体系的なカリキュラムとなっている日本では唯一の学部といえる。本学は日本通運が設立したという経緯もあり、その特色を最も継承した学部ともいえる。

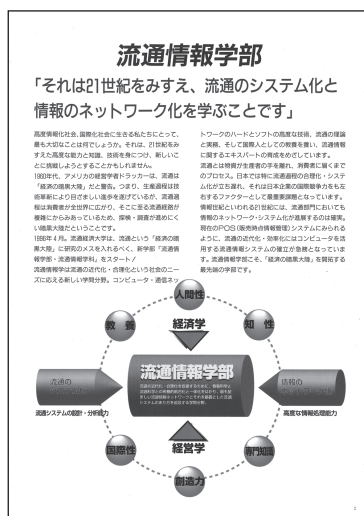
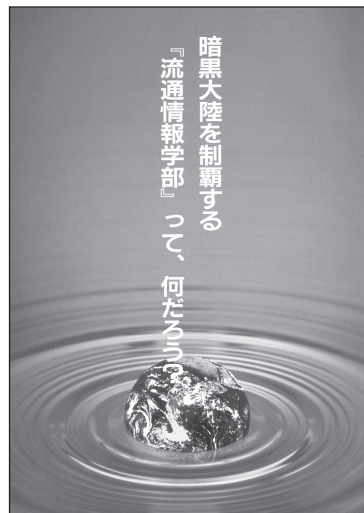
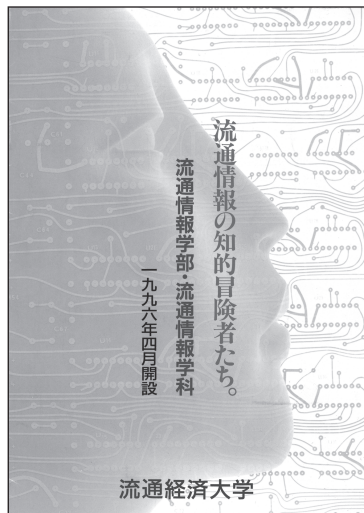
■流通情報学部 of 学部方針の変遷

1996年開設時の、流通情報学部の学部方針として、次のことが挙げられている。

○流通情報学部流通情報学科の教育理念 1996年（図表1を参照）

本学が考えている流通情報学の定義は、

「情報世紀」における流通の近代化・効率化を推進するために（課題）、
情報科学と流通科学との有機的統合化と一体化をはかり（内容）、



ソフト・ハード、ともに秀でた
『21世紀の流通産業人はここから巣立つ。』

流通情報学部長
（学長）
坂下 昇

わが国の発展と進歩は先進国の中でも高い水準にあるとされていますが、それは第1次産業、第2次産業、第3次産業にわたってのことです。流通産業も第3次産業に属してはじめて産業革命を遂げる状況ではないかと懸念されています。その一つの理由が、かなり顕著な点には、流通産業にはなお数多くの組織が残り、競争条件が劣化していないためであると考えます。しかしながら、今後発生する経済は競争経済に生き残るため、流通産業に競争力あることは、経済社会における流通産業のあり方についての先駆的な科学的理解と、その能力を構築するための情報処理能力についての専門能力の構築、つまり、ソフトとハードの両方に強い人材が輩出されていることです。私はこの文芸的認識に賛成し、人材育成に力を入れています。

わが流通経済大学の流通情報学部こそ、そのような人材を育成する場として存在する。日本において最もユニークな高等教育機関であり、流通情報学部に対するわれわれの期待は、流通産業の発展と人材の育成にあると信じています。

このように流通情報学部は、競争に勝つ、勝たずに生き残る能力、入学とされることを心から祈願しています。やがて世紀の終結は、流通産業の人類の第一歩として、この流通情報学部から出ていることを私は確信をもって予言しています。期待とともに、未来の時代を待っています。

図表1 流通情報学部開設時のパンフレット（抜粋）

もって、最も望ましい流通情報ネットワークとそれを基礎とした流通システムのあり方を追求する（政策）、新しい学問分野である。

したがって、流通の情報化に適応できる人材は、

- ①情報処理能力に長けていること、
 - ②流通の理論と実務に明るく、かつそれが経済学、経営学の基礎的素養に裏打ちされていること、
 - ③幅広い教養に支えられた健全なる常識と豊かな人間性を併せもつ国際人であること、
- が必要である。

情報と流通に関する高度な専門知識と幅広い教養に裏打ちされた、斬新な創造力と的確な判断力、豊かな人間性を兼ね備えた人材を育成する。

これらは、現在の流通情報学部の学部方針の基本的考え方の基礎となっている。さらに2000年には学部方針を次のように変更している。すなわち、「ロジスティクス」の概念を学部の柱とした。

○流通情報学部流通情報学科の教育理念 2000年

インターネットの急速な普及で、もっとも大きな影響を受けているのは、流通産業である。IT革命が取引に必要な情報の入手費用を劇的に低下させたことで、インターネットを通じて世界中のどこでもリアルタイムで効果的に市場取引ができるようになった。21世紀の市場経済は、ITの進展で大きく変化する。

本学が考えている流通情報学とは、「情報の世紀」における流通の近代化・効率化を推進するために（課題）、情報科学と流通科学との有機的統合化と一体化をはかり（内容）、もって、最も望ましい流通情報ネットワークとそれを基にした流通システムのあり方を追求する（政策）、新しい学問であると定義づけることができる。

こうした概念は、近年、「ロジスティクス」として世界的に研究されている学問分野とほぼ完全に重なり合っている。ロジスティクスは、通常、『顧客が必要とする条件に適合させるように、産出地点から消費地点に至るまでの財とサービスならびに関連する情報のフローとストックを、効率的かつ有効なものとするように計画立案し、実施し、かつ制御する過程』と定義される。

本学科では、このような過程を有効に展開していく場において、最高の能力を発揮するような人材を育成していくことを目標とする。

さらに2000年に、ロジスティクスを柱として、流通情報学部の指導方針を大きく変更した。

- (1) 流通産業の社会的あり方について、経済学および経営学的見地からの理解を深めるため、経済学、経営学の両分野を含め、広く社会科学的素養を身につけさせる。これは同時に、ロジスティクスを理解するうえで、経済学および経営学、その他関連社

会科学の理論および分析手法を学ぶことが、多くの点で有用だからである。

- (2) 前項の素養に裏づけされた上で、流通科学の理論に通じ、かつ流通産業の実務に明るい人材を育成する。ロジスティクスを推進するためには、流通科学および流通産業の現状についての深い理解が前提となるからにはかならない。
- (3) さらに、情報処理技術についての実行能力を高めるため、情報科学の基礎および応用についての実力を涵養する。これは、ロジスティクスのほとんどすべての側面において、高度な情報処理技術が必要とさるという社会のニーズに適合する。

以上の教育理念、指導方針は、その後若干の変更はあるものの、現在の流通情報学部的基本的な学部方針となっている。

■開設期の教員 1998年度科目

約20年前の開設期の教員メンバーと主な担当科目は次の通りである。その時のメンバーの多くは、現在退職されている。担当科目名はその後変更されている場合が多くなっている。当時は「物流」という言葉を多く使っていたが、現在は、「ロジスティクス」を使っている場合が多いものの、基本的な体系には大きな変更はない。

- ・ 坂下 昇 産業立地論

◇商流・流通系

- ・ 江尻 弘 流通概論，マーケティング論
- ・ 大久保 善弘 商法
- ・ 小野崎 恒夫 経営管理総論，経営学総論
- ・ 小林 憲一郎 商業経営論
- ・ 中村 博 流通情報システム論，小売業態論

◇物流系

- ・ 織田 政夫 交通論，海運論
- ・ 野尻 俊明 流通関係法，法学概論
- ・ 野村 宏 物流事業論
- ・ 山野辺 義方 物的流通論，倉庫論
- ・ 内田 信行 国際輸送論
- ・ 矢野 裕児 流通システム論，流通システム設計演習

◇情報系

- ・ 倉田 是 情報学概論，ソフトウェア科学
- ・ 林 英輔 コンピュータネットワーク論，システム科学
- ・ 内桶 誠二 コンピュータ科学
- ・ 奥 喜正 統計学・演習，流通データ解析・演習，コンピュータ演習
- ・ 片山 直登 流通システム設計演習，ネットワーク計画法・演習

- ・ 蜂谷 博 情報処理論, 情報システム応用演習
- ・ 関 宏幸 人間科学, 情報システム基礎演習

◇一般教養系, 語学

- ・ 瀬谷 廣一 言語論, 情報英語
- ・ 田原 善郎 哲学, 論理学
- ・ 坂本 充 体育
- ・ 日埜 博司 ボルトガル語
- ・ 水野 恵子 日本語
- ・ レバリット・リード 情報英語, 観光会話

■カリキュラムの変遷

流通情報学部のカリキュラムは, 社会的な環境変化, 学生のニーズ等にあわせて, 開設以来何度も見直されてきた。その変遷は大きくは次の3期に分かれる。

◇第1期 学部開設期 (図表2 参照)

学部開設期から, 情報科学と流通科学を有機的統合化という考え方を導入している。ただし, 先に述べたように学部の柱として「ロジスティクス」という言葉は打ち出していない時期である。科目名は「物的流通論」, 「物流事業論」というように物流という言葉が使われている。さらに「海運論」, 「航空輸送論」, 「倉庫論」といった物流事業ごとに分かれた科目編成となっている。一方, 情報科学と流通科学を有機的統合化という観点から「流通システム設計演習」, 「流通データ解析・演習」, 「流通情報システム論」などの科目があった。

◇第2期 「ロジスティクス」を柱とした学部のカリキュラム (図表3 参照)

学部開設から4年間が経過し, 学部の新しい概念を検討しているなかで, 「ロジスティクス」を学部の柱としていこうということになった。「ロジスティクス」の考え方が, 流通情報学部が, 従来から目指していた考え方と一致しているのと同時に, この時期には企業などでも, 「ロジスティクス」という言葉が一般化してきたということもあった。そのため, 2年生以上の演習はすべてロジスティクスという言葉をつけたほか, 1年時の必修科目として「ロジスティクス概論」を設けた。さらに科目名も「ロジスティクスシステム論」, 「ロジスティクスビジネス論」, 「グローバルロジスティクス論」というようにロジスティクスという名称に再編成すると同時に, 物流事業ごとの分類ではなく荷主企業, 物流企業, 国際といった分類に再編成した。これらの科目構成の考え方は, 現在も継続している。また, 卒論発表会を2000年度卒業生(2期生)~2001年度卒業生(3期生)は, 有志のゼミのみ, 2002年度卒業生(4期生)より必修化した。卒論発表会は, 現在も12月に開催しており, 全卒業生が発表することとなっている。なお, 新松

戸キャンパスは2004年に開校した。

◇第3期 産学連携を柱としたカリキュラムの導入（図表4参照）→コース制の導入

流通情報学部ではロジスティクスに関連する講義科目を多く設けていたが、講義形式だけの授業では、実務経験がない学生においてはイメージがわからず、ロジスティクスのおもしろさについても、認識されにくいという問題が発生していた。

そこで、学生の意欲を高め、またロジスティクスの現場に対する理解を深めるため、企業現場の事例を豊富に含む実践科目を体系的に導入するべきだという議論がなされた。この試みは、経済産業省の2008年度、2009年度の産学連携人材育成事業として認定され、「サプライチェーン・ロジスティクス人材育成プログラム」として、具体的な講義内容、産学連携による進め方、教育方法、運営方法について検討・整理を行った。本プログラムでは、まず学生にロジスティクスの面白さを伝え、興味を持たせ、実際の企業の動きを学ぶことによって、ロジスティクスの全体像を理解しやすくし、かつ他の講義科目と相乗的に学修効果を上げ、さらに企業の新しい情報を学修することによって、新たなロジスティクスの考え方を研究するきっかけにすることが大きな目標となった。

具体的には、①企業講師による講座、②企業訪問による講座、③企業現場で改善案を考えるなどの演習という各段階で構成することとした。そして、ロジスティクス産学連携プログラムとして、「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「情報システム実践講座」、「ダイレクトマーケティング実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「ロジスティクス改善演習」の7科目を開講していくこととなる。また、産学連携プログラムを、より良いものと展開していくために、企業、企業講師と大学が情報交換をし、常に見直しを図っていくための組織体制、コンソーシアムも2011年度に構築した。

さらに、物流マネジメントコース、国際物流コース、情報デザインコースの3つのコースを導入した。このような経緯を経て、現在のカリキュラム構成となっている。

■最後に

流通情報学部が開設されてから20周年を迎えた。その間、様々な社会環境変化があったが、同時に物流、情報の世界も大きく変化してきた。そのなかで本学部が目指した情報科学と流通科学との有機的統合化と一体化、さらに「ロジスティクス」の重要性はますます高まっている。流通情報学部は、これまで図表5のように、2,931人の優秀な卒業生を社会に輩出してきた。そして今後も、更なる優秀な卒業生を社会に輩出していくことが求められている。

流通情報学科学年別教育課程表

			1 学 年		2 学 年		3 学 年		4 学 年		摘 要
			授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数	
必修科目	専門科目	流通共通科目	流 通 概 論	4			流通システム概論	2			・ 6 単位必修
		情報基礎科目	情 報 学 概 論	4							・ 6 単位必修
		情報基礎科目	情報システム概論	2							
		情報応用科目			情報システム応用演習	2					・ 2 単位必修
	共通科目	卒業演習・研究	基 礎 演 習	2	専 門 演 習 I	2	専 門 演 習 II	2	専 門 演 習 III	2	・ 12 単位必修
		外国語科目	英 語 I A	2	英 語 II A	2	英 語 III	2			・ 10 単位必修 なお、外国人留学生は、(外)日本語 4 単位、英語 10 単位の合計 14 単位必修
			英 語 I B	2	英 語 II B	2					
		外国語科目	(外)日本語 I A	2							
			(外)日本語 I B	2							
	共通科目	体育	スポーツ実技 I	1	スポーツ実技 II	1					・ 2 単位必修
選択必修科目	専門科目	流通共通科目	◎経営学総論	4	流通システム論	4	流 通 政 策 論	4	選 択 必 修 科 目 23 科目のうちから 20 単位以上。ただし、◎印の科目を 4 単位以上、☆印の科目を 4 単位以上履修しなければならない。	4	選択必修科目から 60 単位を選択 (外国人留学生は選択必修科目 56 単位)
		流通共通科目	◎会計学総論	4			流 通 経 済 特 殊 講 義	4		4	
		物流科目			☆物的流通論	4	海 運 論	4		4	
		物流科目			物流事業論	4	倉 庫 論	4		4	
	専門科目	物流科目			交 通 論	4	国 際 物 流 論	4		4	
		物流科目					産 業 立 地 論	4		4	
		物流科目					航 空 輸 送 論	4		4	
		物流科目								4	
	情報科目	商流科目			☆マーケティング論	4	国 際 マーケティング論	4		4	
		商流科目			商業経営論	4	流 通 史	4		4	
		商流科目			消費者行動論	4	保 険 論	4		4	
		商流科目					市 場 調 査 論	4		4	
	情報科目	情報基礎科目	◎基礎情報数学	4	☆ソフトウェア科学	4	デ ータ ベース論・演習	4	選 択 必 修 科 目 8 科目のうちから 16 単位以上。ただし、◎印の科目を 4 単位以上、☆印の科目を 4 単位以上履修しなければならない。	4	
		情報基礎科目	◎統計学・演習	4	コンピュータネットワーク	4	人 工 知 能 論	4		4	
		情報基礎科目	☆コンピュータ科学	4	情報処理論	4					
		情報応用科目			ネットワーク演習	4	流 通 データ解析・演習	4		4	
選択必修科目	情報科目	情報応用科目					流 通 情 報 システム論	4	選 択 必 修 科 目 8 科目のうちから 8 単位以上履修しなければならない。	4	
		情報応用科目					情 報 通 信 事 業 論	各		2	
		情報応用科目					集 団 意 思 決 定 論				
		情報応用科目					シ ス テ ム 科 学				
		情報応用科目					情 報 メ デ ィ ア 論				
		情報応用科目					情 報 関 連 法 規				

図表 2 学部開設期のカリキュラム (1996年)

			1 学 年		2 学 年		3 学 年		4 学 年		摘 要		
			授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数			
選 択 必 修 科 目	共 通 科 目	外 国 語 科 目	独 語 IA, IB 仏 語 IA, IB 中 国 語 IA, IB ス ペ イ ン 語 IA, IB ロ シ ア 語 IA, IB 朝 鮮 (韓 国) 語 IA, IB ポ ル ト ガ ル 語・ブ ラ ジ ル 語 IA, IB ア ラ ビ ア 語 IA, IB	各 2							選 択 必 修 科 目 4 単 位 以 上 た だ し、外 国 人 留 学 生 は 除 く		
			組 織 科 学 人 間 科 学 流 通 経 済 論 ミ ク ロ 経 済 学 資 本 主 義 経 済 論 経 済 地 理 学 民 法 I	各 4	現 代 社 会 論 情 報 化 社 会 論 産 業 社 会 学 異 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン マ ク ロ 経 済 学 金 融 論 経 営 管 理 総 論 計 量 経 済 学 情 報 経 済 学	2	簿 記 論 国 際 日 本 経 済 論 日 本 法 法 I 民 法 法 II 商 法 法 II 経 済 法 産 業 組 織 論	2	各 4	選 択 科 目 から 32 単 位 を 選 択 履 修 し な け れ ば な ら ない。 た だ し、* 印 の 科 目 の 中 か ら 20 単 位 以 上 履 修 し な け れ ば な ら ない。			
選 択 科 目	共 通 科 目	外 国 語 科 目	英 会 話 I	2	英 会 話 II	2	英 会 話 III	2				(外) 日 本 語 II, III は 外 国 人 留 学 生 の 科 目 を 示 す。	
			独 語 II 仏 語 II 中 国 語 II ス ペ イ ン 語 II ロ シ ア 語 II 朝 鮮 (韓 国) 語 II ポ ル ト ガ ル 語・ブ ラ ジ ル 語 II ア ラ ビ ア 語 II (外) 日 本 語 II	各 2	独 語 III 仏 語 III 中 国 語 III ス ペ イ ン 語 III ロ シ ア 語 III 朝 鮮 (韓 国) 語 III ポ ル ト ガ ル 語・ブ ラ ジ ル 語 III ア ラ ビ ア 語 III (外) 日 本 語 III	各 2							
			* 哲 学 * 現 代 文 章 論 * 心 理 学 * 教 育 学		* 歴 史 学 (日 本 史) * 歴 史 学 (世 界 史) * 文 学 (日 本 文 学) * 文 学 (外 国 文 学)		* 外 国 文 化 論 * 文 化 人 類 学 * 宗 教 学 * 宗 教 思 想 史		* 美 術 史 * 英 米 文 化 事 情 * 日 本 文 化 論	各 4			
			* 数 学 * 言 語 論		* 論 理 学 * 社 会 学		* 政 治 学 * 人 文 地 理 学		* 産 業 技 術 論 * 社 会 科 学 概 論	各 4			
			* 経 済 学 * 法 学 法 * 憲 法							各 4			
選 択 科 目	共 通 科 目	教 養 科 目	* 自 然 環 境 論 * 自 然 地 理 学 * 物 質 科 学		* 生 態 学 * 人 類 学 * 健 康 科 学 論					各 4			
													130 単 位 ・ 必 修 38 単 位、(外) 42 単 位 ・ 選 修 60 単 位、(外) 56 単 位 ・ 選 択 32 単 位 (外) は 外 国 人 留 学 生 の 単 位 数 を し の す。
卒 業 に 必 要 な 単 位 数 合 計													

②

1学年			2学年			3学年			4学年			講義
授業科目			授業科目			授業科目			授業科目			
専門科目	専門関連科目	組織科学	商社論	現代社会論	マクロ経済学	簿記論	民法Ⅱ	経済法	専攻科目	経済法	専攻科目	専攻科目
		流通経済論	経済論	産業社会学	金融論	国際経済論	商法Ⅰ	国際法				
専門科目	専門関連科目	シロ経済学	現代マーケティング論	異文化コミュニケーション	計量経済学	日本経済論	商法Ⅱ		専攻科目	経済学	専攻科目	専攻科目
		資本主義経済論	情報化社会論Ⅰ	情報化社会論Ⅱ								
専門科目	専門関連科目	経済地理学			経済学概論	経営学概論	経営学概論		専攻科目	経営学	専攻科目	専攻科目
		民法Ⅰ			経済学特修講義							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語	専攻科目	専攻科目
		英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ							
専門科目	専門関連科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ		英語Ⅲ				専攻科目	英語		

図表3 「ロジスティクス」を柱とした学部のカリキュラム (2000年)

		1 学 年		2 学 年		3 学 年		4 学 年		摘 要	
		授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数		
必修科目	演 習	基 礎 演 習	4	ロジスティクス・総合演習	4	ロジスティクス・専門演習Ⅰ	4	ロジスティクス・専門演習Ⅱ 卒 業 研 究	4	20単位	必修科目40 単位を履修 しなければならない。
	共通科目	外国語 (注1)	英 語 AⅠ・AⅡ	英 語 CⅠ・CⅡ					8単位		
			英 語 BⅠ・BⅡ	英 語 DⅠ・DⅡ					(8単位) (注3)		
			(外)英語AⅠ・AⅡ	(外)英語BⅠ・BⅡ							
			(外)日本語AⅠ・AⅡ								
		体 育	スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ					2単位			
	講 義	数 学Ⅰ	2					2単位			
専門科目	情 報	情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2					4単位			
	流通情報学部共通科目	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ	各2					4単位			
選択必修科目	共通科目	外国語 (注2)	ドイツ語AⅠ・AⅡ	各1					4単位	選択必修科目と選択科目を合わせて84単位以上履修しなければならない。 (注4)	
			ドイツ語BⅠ・BⅡ								
			フランス語AⅠ・AⅡ								
			フランス語BⅠ・BⅡ								
			中国語AⅠ・AⅡ								
			中国語BⅠ・BⅡ								
			スペイン語AⅠ・AⅡ								
			スペイン語BⅠ・BⅡ								
			朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ								
			朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ								
			ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ								
			ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ								
	A 群		(外)英語CⅠ・CⅡ	(外)英語DⅠ・DⅡ	各1				(4単位) (注3)		
			(外)日本語CⅠ・CⅡ	各1							
			(外)日本語DⅠ・DⅡ	各1							
		哲 学Ⅰ・Ⅱ	論 理 学Ⅰ・Ⅱ	言 語 論Ⅰ・Ⅱ	憲 法Ⅰ・Ⅱ				各2		
		法 学Ⅰ・Ⅱ	心 理 学Ⅰ・Ⅱ	政 治 学Ⅰ・Ⅱ	社 会 学Ⅰ・Ⅱ						
		数 学Ⅱ	地 球 科学Ⅰ・Ⅱ	健康科学論Ⅰ・Ⅱ	教 育 学Ⅰ・Ⅱ						
		現代中国論Ⅰ・Ⅱ	生 態 学Ⅰ・Ⅱ	物 質 科学Ⅰ・Ⅱ	自然環境論Ⅰ・Ⅱ						
		生 命 科学Ⅰ・Ⅱ	経 済 学Ⅰ・Ⅱ								
		英語演習Ⅰ・Ⅱ					各1				
		B 群	文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ	文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ	現代文章論Ⅰ・Ⅱ	各2				24単位以上	
			歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ	歴史学入門(東洋史)	歴史学入門(西洋史)						
			人文地理学Ⅰ・Ⅱ	自然地理学Ⅰ・Ⅱ	社会科学概論Ⅰ・Ⅱ						
人類学Ⅰ・Ⅱ	民俗学Ⅰ・Ⅱ		考古学Ⅰ・Ⅱ								
宗 教 学Ⅰ・Ⅱ	美 術 史Ⅰ・Ⅱ		情報環境論Ⅰ・Ⅱ								
スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ	(外)日 本 事 情		(外)日 本 の 現 在								
C 群	(外)日 本 の 思 想										
		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ	現代女性論Ⅰ・Ⅱ	英米文化事情Ⅰ・Ⅱ							
		日本文化論Ⅰ・Ⅱ	資源環境論Ⅰ・Ⅱ	防災科学Ⅰ・Ⅱ							
		メディア論Ⅰ・Ⅱ	外国文化論Ⅰ・Ⅱ	英 書 講 読Ⅰ・Ⅱ							
D 群		歴史学特殊講義(西洋史)	歴史学特殊講義(東洋史)	(外)日本語講読Ⅰ・Ⅱ							
						宗教思想史Ⅰ・Ⅱ	産業技術論Ⅰ・Ⅱ	各2			
						文学特殊講義Ⅰ・Ⅱ	美術史特殊講義Ⅰ・Ⅱ				
						歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ	総合教養講座Ⅰ・Ⅱ				
						情報英語Ⅰ・Ⅱ		各1			

図表4 産学連携を柱としたカリキュラムの導入（2004年）

		1 学 年		2 学 年		3 学 年		4 学 年		摘 要		
		授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数			
選 択 必 修 科 目	専 門 科 目	物流系 科 目		グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ		航空輸送論Ⅰ・Ⅱ ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ		ターミナルシステム論Ⅰ・Ⅱ	各 2	44単位以上		
		商流系 科 目	流通概論Ⅰ・Ⅱ	各 2	マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 経営管理論Ⅰ・Ⅱ		経営戦略論Ⅰ・Ⅱ 商業経営論Ⅰ・Ⅱ		経営学総論Ⅰ・Ⅱ 商業経営診断論			各 2
		情報系 科 目	情報学概論Ⅰ・Ⅱ 統計学・演習Ⅰ・Ⅱ	各 2	ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ システムアドミニストレーション論Ⅰ・Ⅱ		アルゴリズム基礎論 情報通信事業論		ヒューマンインターフェイス論 情報システム論Ⅰ・Ⅱ			各 2
		複合領域 科 目		ロジスティクス数学Ⅰ・Ⅱ 物流計画法 地域経済論Ⅰ・Ⅱ 流通政策論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 市場調査論Ⅰ・Ⅱ 流通関係法Ⅰ・Ⅱ 物流関係法Ⅰ・Ⅱ		OR基礎論 システム流通環境論 産業立地論Ⅰ・Ⅱ 流通史Ⅰ・Ⅱ 広告論Ⅰ・Ⅱ 集団意思決定論 情報関連法規		エルゴノミクス論 交通論Ⅰ・Ⅱ 国際物流実務論Ⅰ・Ⅱ 国際マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 消費者行動論Ⅰ・Ⅱ 会計学総論Ⅰ・Ⅱ 流通情報特殊講義	各 2			
				野村證券寄付講座 日本通運寄付講座		実践経営学講座 インターンシップ		各 4				
		コンピュータ 演習科目	コンピュータ基礎演習Ⅰ・Ⅱ	各 2	情報システム応用演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ データベース基礎演習		データサイエンス・演習 情報システム基礎演習Ⅲ		流通システム設計演習Ⅰ・Ⅱ (注6・7)			各 2
選 択 科 目	共 通 科 目	外国語	英会話AⅠ・AⅡ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ 留学英会話Ⅰ・Ⅱ	選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国語)初級Ⅰ・Ⅱ 留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ(注5)		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ	各 1	選択必修科目と選択科目を合わせて84単位以上履修しなければならない。 (注4)		
			英会話CⅠ・CⅡ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ (外)選択日本語CⅠ・CⅡ	選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国語)中級Ⅰ・Ⅱ						
				英会話EⅠ・EⅡ 選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ (外)選択日本語EⅠ・EⅡ		選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国語)上級Ⅰ・Ⅱ						
選 択 科 目	専 門 科 目	専門関連 科 目	資本主義経済論Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ 民法(総則・物権法)Ⅰ・Ⅱ サービス経済論 流通経済論	現代リーダーシップ論Ⅰ・Ⅱ 文化とコミュニケーションⅠ・Ⅱ 計量経済学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 民法(債権法)Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 電子商取引論 ベンチャーキャピタル論		現代社会論Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ 民法(債権法)Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ リスク管理論Ⅰ・Ⅱ E-ビジネス論 情報化社会論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 経営財務論Ⅰ・Ⅱ		産業社会学Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 商法(総則・会社法)Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 ベンチャービジネス論 管理会計論Ⅰ・Ⅱ 流通経済特殊講義	各 2	8 単位以下		
他学部の専門科目から自由に選択し、履修することができる。ただし、当該学部配当年次以上の学年での履修に限る。												
卒業に必要な単位数の合計										124単位以上		

(外)は外国人留学生の科目を示す。

(注1) 日本語を母語としない外国人留学生は、1学年で(外)日本語AⅠ・AⅡ、(外)日本語BⅠ・BⅡ、1学年か2学年で(外)英語AⅠ・AⅡ、(外)英語BⅠ・BⅡを履修しなければならない。ただし、英語を母語とする学生、ないしはそれに準ずる学生の場合には、当該学生の事情を勘案の上、履修単位の振替案を別途定める。

(注2) 日本語を母語としない外国人留学生は、2学年で(外)日本語CⅠ・CⅡ、(外)日本語DⅠ・DⅡ、2学年か3学年で(外)英語CⅠ・CⅡ、(外)英語DⅠ・DⅡのいずれかを履修しなければならない。ただし、英語を母語とする学生、ないしはそれに準ずる学生の場合には、当該学生の事情を勘案の上、履修単位の振替案を別途定める。

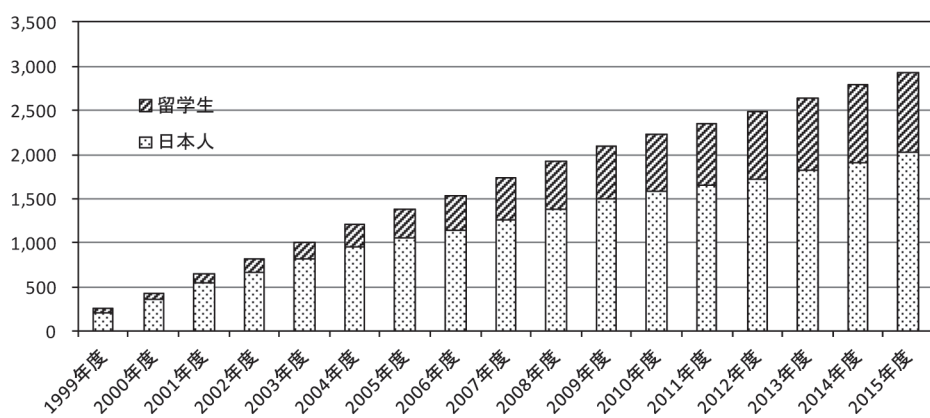
(注3) (単位)は、外国人留学生の履修単位を示す。

(注4) この欄の単位数を合計すると、4単位+24単位以上+44単位以上=72単位以上となり、84単位以上にはならない。不足分の12単位は、この欄の授業科目から自由に選択して履修すること。

(注5) 外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

(注6) 「情報システム基礎演習Ⅲ」と「データサイエンス・演習」は、両方を履修できない。

(注7) 「情報システム応用演習Ⅲ」と「流通システム設計演習Ⅰ」は、両方を履修できない。



図表 5 流通情報学部 of 累積卒業生数